

令和2年度 事業報告書

令和2年5月1日から令和3年4月30日まで

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティブ・トウキョウ

1. 事業の成果

「アーティストの東京滞在宿舍の提供及び生活支援サービス」事業

本年度は、コロナ禍でのアーティスト・イン・レジデンス事業の実施について思案した結果、オランダの文化機関と協働し、AITでは初となるオンラインでのアーティスト・イン・レジデンスを行った。オランダ、日本双方からアーティストを1名ずつ公募で選出し、オンライン上での対話、スタディ・セッションを重ね、それぞれのリサーチや制作を進め、その成果をトークイベントで発表した。また、レジデンス事業者とアーティストを迎えたラウンドテーブルを開催し、移動の新たなあり方やプログラムの可能性を探るディスカッションを行った。アーティスト・イン・レジデンス事業の在り方について、今後もアーティストおよび関係機関と継続して議論し、臨機応変に対応していく。

その他、京都芸術センターと運営協力を行い、文化庁主催、京都市共催のもと、国内で中心的なレジデンス活動を行う30団体が参加するオンラインシンポジウムを企画した。コロナ禍での実践や経験を共有、今後の事業展開への新しいアイディアを探り、ネットワーク拡大にも努めた。

「海外におけるアーティストインレジデンス施設に関する情報収集、提供」事業

実施なし

「国内アーティストの海外施設への入所支援」事業

12回目となるバックカース・ファンデーションとのレジデンス支援では、昨年度に続き日本人のアーティスト2名を海外に派遣する予定であったが、コロナ禍で断念した。海外での滞在・制作活動に代わり、国内での活動を維持するための支援として、アーティスト1名に対しては制作スペースづくりを支援した。アーティスト・ラン・スペースとして、展示空間に加えて茶室やミュージックルームを併設し、ギャラリー空間とは異なる交流の場を創出する予定である。もう1名に対しては、ウェブサイトの多言語化とコンテンツ充実化の支援を行い、特にオンラインでの情報発信に重要性が傾く中、自身の活動を国内外に広く発信するための足がかりとした。渡航が不可能な状況下で、アーティストが今必要としている支援内容を丁寧に汲み取り、新しい形の支援をすることができた。

「現代美術の展覧会、ワークショップの実施及びその支援」事業

昨年度に続き、東京都が主催し中堅アーティストのさらなる活動を支援する「Tokyo Contemporary Art Award (TCAA)」の選考会運営事務局や、マネックスグループ株式会社主催の公募プログラム「ART IN THE OFFICE」等、自治体、企業との協働プログラムを行った。

新たに、三菱商事株式会社の「三菱商事アート・ゲート・プログラム」のアドバイザーとして参画し、プログラムを刷新した。資金援助にとどまらず、若手アーティストの学びの機会や制作活動の発展をサポートするプログラムを二年に亘り実施する。その他、コーディネーション業務では、会員制の「東京倶楽部」や「東京アメリカンクラブ日本橋」、都内の新築マンションに、それぞれのテーマに沿った現代アート作品を選定、設置し、会員メンバーや住民、訪れた人に広く作品を紹介する機会を作り出した。

「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2018-2020」展は、コロナ禍でアーティストが来日や上京ができず、思うようにリサーチや展示作業ができないという制限のなか、リモートで展示を完成させ、会期の短縮はしたものの開催することができた。展覧会を中止としないことで、困難な状況のなかでも3名の作家全員が、新たな表現につながる新作に取り組むことができた。本プログラムは、2003年より提携してきた原美術館（東京）の閉館に伴い、美術館で成果を発表するという形は一区切りとなるが、2021年以降も形を変えて継続していく。

「日産アートアワード2020 ファイナリストによる新作展」もまた、コロナ禍により展覧会の開始が遅れたが、会期を短縮しながらも横浜に開設した「ニッサンパビリオン」の会場で約2ヶ月に亘り展覧会を開催することができた。また、海外選考委員の渡航が叶わない中で、初の試みとして展覧会の動画配信やオンラインを活用したアーティスト・トークおよび授賞式を取り入れることで、国内外からの多数の視聴を可能にした。そのほか、同時期に開催されていたヨコハマトリエンナーレ2020との連携も積極的にはかり、ライブストリーミングチャンネル DOMMUNE での合同トークも配信した。

また、昨年度にレジデンス事業で協働した時代美術館（中国・広州）との連携で、日本人振付家/ダンサーを中国に派遣する予定であったが、コロナ禍により渡航せず、広州と東京をオンラインでつなぐワークショップの開催に協力した。広州の一般市民の参加者（商店の店主や美術館警備員、子ども）とともに、東京側ではコンテンポラリーダンスグループを率いるダンサーのナビゲーションのもと、中国の参加者との身体の前言語コミュニケーションを通じて対話・交流した。その映像記録は時代美術館にて展示される。その他、昨年度に招聘した中国出身のダンサーが、協働団体である浦河べてるの家主催の年に一度の行事にゲストとして遠隔で参加し、広州のダンススタジオから子どもや参加者とともにダンスを披露した。イベントでは北海道の参加者もオンラインでコラボレーションし、継続的に交流する姿も見られた。AITにとっては、ダンス＝身体をとおした前言語コミュニケーションという表現形式で、様々な分野の人と国をまたいだワークショップを行うことができたこと、そして、アーティストと協働団体との、一過性ではない継続的な関わりの橋渡ししできたことが大きな成果と言える。

「現代美術に関する公開講座の実施」事業

20年の節目を迎えた教育プログラム「MAD」は、時代の変遷とともに内容のリニューアルを計画していたが、コロナ禍の影響を受け、プログラム内容や方法を改めて精査、刷新した。これまでのMADの軌跡を活かしながら、芸術をより複雑で感覚的で、これからの時代を生きる想像力を養う「道具」として捉え、「分かり難さ」や「複雑さ」をともに議論し再考することで、予想もしなかったひらめきや隠れていたアートの豊かさを発見するプログラムとし、名称を「Total Arts Studies (TAS)」に変更した。

TASでは、ICTを活用し、withコロナ時代の交流や対話の重要性を見据えたオンライン・ラーニングで、新たな参加者層の開拓と記録・コンテンツ発信を行った。東京、長野、アムステルダム、ニューヨークをつなぎ、芸術を取り巻く思想、歴史、社会に関する講座やワークショップを実施した。また「気候危機」「コロナ禍における芸術体験」などをテーマに講座シリーズを開講し、歴史を振り返り複雑な社会に介入した芸術家の実践に加え、来たるべき困難な状況に向き合うための「適応力」の重要性や、アートのもう一つの役割について考察を行った。

また、特別講座として、イギリスのテートモダンで展覧会開催中の南アフリカ出身作家の作品を通し、LGBTQIA+コミュニティに生きる人々の表現から現代の社会を考える機会を得た。また、株式会社資生堂から寄付を受け、子どもや若者たちと芸術家や支援者を繋ぐ「dearMe」の取り組みに関連した福祉と芸術の講座シリーズを開講した。オランダで精神医療と芸術を結ぶ「The Fifth Season」のディレクターをゲストに迎えた講座のほか、アーティストによる小学生向けの科学と生活ワークショップを行い、一般参加者のほか、経済的に困難な家庭の支援団体から招待した子どもたちが参加した。

TAS全体として、多角的な視点でこれからの生き方について改めて考え、行動し、社会を変えていく人材の育成を図ったこと、またオンラインでのイベントを記録としてアーカイブ配信し、これまで届きにくかった層の人々にコンテンツを届けたことは、今年度の特筆すべき教育事業であったと言える。

「現代美術に関する機関誌発行、インターネット上でのホームページ開設、情報提供」事業

ウェブサイトを刷新し、これまでのAITの活動履歴を簡潔にまとめて紹介したほか、新たな試みとしてレジデンス事業はじめ、自主事業で関わりのあったアーティストや関係者を掲載した。これは20年目を迎えるにあたり、AITの貴重なアーカイブとなった。そのほか、講座の一部をテキスト化し、ウェブサイト上に動画の補足資料として公開した。そのことにより、アートに関心のある聴覚障害を持つ人など、より多くの人々が学びにアクセスできる機会につながったといえる。

「飲食提供業、物品販売業」事業

オンラインでの交流イベントを開催し、現代アートの教育プログラムTASに参加した参加者が、各自の関心に合わせ講師やスタッフ、参加者同士で意見交換をする機会を設けた。コロナ禍で対面での交流ができないなか、オンラインで、関心事の共有や議論が続けられたことは意味があった。

物品販売では、昨年度に続き「dear Me」の一環で制作したアーティストグッズを販売予定であったが、コロナの影響で実地イベントでの販売機会を持てなかったため、来年度はオンライン化や委託販売を行う予定である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者 の人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
①アーティストの東京滞在宿舍の提供及び生活支援サービス	オンライン・レジデンスプログラム [redacted] (オランダ)、文 化庁 ([redacted])	2020年5月-2021 年4月	オンライン	2名	1名	3,428
②海外におけるアーティストインレジデンス施設に関する情報収集、提供	実施なし	—	—	—	—	—
③国内アーティストの海外施設への入所支援	オンライン・レジデンスプログラム [redacted] (オランダ) 文化庁 [redacted] バックカース・ファンデーション (日 本) アーティスト支援 [redacted]	2020年5月-2021 年4月	オンライン	2名	3名	8,112

④現代美術の展覧会、ワークショップの実施及びその支援	「アート・イン・ザ・オフィス」運営協力（マネックスグループ株式会社主催） - アーティスト選考会実施 - 社内ワークショップ実施協力 - 過去受賞作品の展示 - オンライントーク	2020年5月 2021年4月	マネックスグループ（株）（港区）	2名	120名	81,413
	東京コンテンポラリーアートアワード選考会運営事務局 （主催：東京都、トキョー・ヴァント・スペース） - アワード実施計画策定 - アーティスト選考会実施 - オンライン・シンポジウム実施	2020年5月 2021年4月	東京都現代美術館（江東区）、アーティストスタジオ（広島県、宮城県）	4名	131名	
	「メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2018-2020」展覧会開催 - オンライン・アーティストトーク - カタログ制作	2020年7月-9月	原美術館（品川区）	2名	5,014名 40名（トーク）	
	「日産アートアワード 2020 ファイナリストによる新作展」企画・運営協力	2020年8月1日-9月22日	ニッサンパビリオン（横浜市）	4名	6,125名	
	新生銀行 - 社員向けオンラインレクチャー 「社会課題から学ぶこれからの芸術は世界危機に何ができるのか」	2020年10月-2021年1月	オンライン	4名	129名	
	三菱商事アート・ゲート・プログラム - プログラム企画及び運営業務 - ウェブサイト構築	2020年5月-2021年4月	東京都渋谷区	5名	-	
	東京倶楽部 - アート選定・設置	2020年5月-2021年4月	東京都港区	3名	-	
	東京アメリカンクラブ日本橋 - アート選定・設置	2020年5月-2021年3月	東京都中央区	4名	-	
	三井不動産レジデンシャル 新築マンション - アート選定・設置	2020年5月-2021年4月	東京都品川区	3名	-	
	Times Museum 主催 ダンスワークショップ ～企画協力、ワークショップ運営	2020年12月26日	東京都世田谷区、およびオンライン	3名	20名	
⑤現代美術に関する公開講座の実施	文化庁主催 「アーティスト・イン・レジデンス事業 オンライン・シンポジウム」企画協力	2021年3月	オンライン	2名	60名	18,672
	現代美術の教育プログラム MAD→Total Art Studies ヘプログラム見直し、ローンチ、アーカイブ配信 TAS 講座 8回	2020年8月-2021年3月	以下全てオンライン	6名	272名（参加者数）	
	子どもとアーティストを繋ぐ「dear Me」アートルーム（ウェブ）、子ども向け科学と生活の講座 1回	2020年5月-2021年4月		3名	8名（子ども）	
	国内外のアーティスト及びキュレーターのトーク＆ワークショップ []（オランダ）を迎えて 1回	2020年5月-2021年4月		3名	53名	
	「第13回恵比寿映像祭」地域連携企画 [] トークレクチャー「ザネレ・ムホリを読み解く」1回	2021年2月		4名	80名	
	Total Arts Studies 2020 Thank you online party (zoom)	2020年12月		8名		

					56名	
⑥現代美術に関する機関誌発行 インターネット上のHPリニューアル、情報提供	イベントや人材募集等の情報を配信 (5回/年) ウェブサイトのリニューアル	2020年5月 -2021年4月	—	7名	9,000名	—

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
飲食提供業、 物品販売業	該当なし	—	—	—	—
	以上				

招聘アーティストおよびキュレーター

提携機関・招聘プログラム名：氏名（出身国）

アーティスト

■■■■■（オランダ）、文化庁（日本）*オンラインで実施
■■■■■（日本）、■■■■■（オランダ）

コロナ禍で延期・中止したプログラム

IASPIS（スウェーデン文化機関）：■■■■■ *プログラム一時中止により渡航延期

MONDRIAAN FONDS（オランダ文化機関）：*プログラム一時中止

Finland Cultural Foundation：■■■■■ *プログラム一時中止により渡航延期

派遣アーティスト

提携機関・派遣プログラム名（国名）：氏名

アーティスト

バックカーズ・ファンデーション（日本）：■■■■■ *海外派遣せず国内での活動支援

広州時代美術館 Times Museum（中国）：■■■■■（ソケリッサ！）

事業報告用

2年度 活動計算書（その他事業がある場合）

特定非営利活動法人 アーツ・イニシアティブ・トウキョウ

（単位：円）

科目		特定非営利活動に係る事業		その他事業		合計
		金 額	小計・合計	金 額	小計・合計	
〔単位：円〕						
【A】 経 常 収 益						
1 受取会費			240,000		0	240,000
正会員受取会費		40,000				
賛助会員受取会費		200,000				
2 受取寄附金			0		0	0
受取寄附金						
施設等受入評価益						
3 受取助成金等			3,782,301		0	3,782,301
受取補助金		593,301				
受取補助金		3,189,000				
4 事業収益			109,091,417		0	109,091,417
事業収益		109,091,417				
5 その他の収益			4,178,360		1,610	4,179,970
受取利息		230				
為替差益		139,514		1,610		
雑収入		4,038,616				
経 常 収 益 計			117,292,078		1,610	117,293,688
【B】 経 常 費 用						
1 事業費						
(1) 人件費			28,586,239		0	28,586,239
給料手当		15,648,630				
役員報酬		8,881,816				
退職給付費用		300,000				
法定福利費		3,592,414				
福利厚生費		163,379				
(2) その他経費			83,041,306		0	83,041,306
仕入高		15,531,878				
外注費		36,776,322				
講師・謝礼金		854,145				
印刷製本費		4,680,700				
製作費		10,190,539				
会議費		72,331				
広告宣伝費		165,090				
旅費交通費		2,483,286				
接待交際費		444,753				
イベント費用		115,508				
通信費		611,554				
消耗品費		1,105,104				
運搬費		1,118,042				
水道光熱費		152,500				
地代家賃		3,036,000				
賃借料		411,250				
減価償却費		825,000				
保険料		129,232				
諸会費		10,125				
租税公課		2,760,300				
資料費		125,644				
支払手数料		351,192				
支払寄付金		64,593				
為替差損		102,218				
雑費		924,000				
事業費計			111,627,545		0	111,627,545
2 管理費						
(1) 人件費			0		0	0
役員報酬						
給料手当						
退職給付費用						
福利厚生費						
(2) その他経費			0		0	0
消耗品費						
水道光熱費						
通信運搬費						
地代家賃						
旅費交通費						
減価償却費						
管理費計			0		0	0
経 常 費 用 計			111,627,545		0	111,627,545
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			5,664,533		1,610	5,666,143
【C】 経 常 外 収 益						
固定資産売却益						
過年度損益修正益						
経 常 外 収 益 計			0		0	0
【D】 経 常 外 費 用						
固定資産売却損						
災害損失						
過年度損益修正損						
経 常 外 費 用 計			0		0	0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②					0	0
経理区分振替額・・・③			1,610		-1,610	
税引前当期正味財産増減額①+②+③・・・④			5,666,143		0	5,666,143
法人税、住民税及び事業税・・・⑤						1,753,800
前期繰越正味財産額・・・⑥						2,503,051
次期繰越正味財産額④-⑤+⑥						6,415,394

2 年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ

(単位：円)

科	目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部			
1	流動資産		
	現金	790,011	25,946,179
	みずほ銀行 普通預金	723,473	
	みずほ銀行 普通預金	1,402,105	
	三井住友銀行 普通預金	103,162	
	三菱UFJ銀行 普通預金	19,966,061	
	みずほ銀行 外貨預金（ドル建）	680,063	
	みずほ銀行 外貨預金（ユーロ建）	1,045,736	
	棚卸資産	833,444	
	仮払金	402,124	
流動資産合計・・・①			25,946,179
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		1
	什器備品	393,645	
	減価償却累計額	-393,644	
	(3) 投資その他の資産		460,000
	敷金	460,000	
固定資産合計・・・②			460,001
【A】 資 産 合 計 ①+②			26,406,180
【B-1】 負 債 の 部			
1	流動負債		
	未払金	7,399,909	19,990,786
	前受金	8,767,000	
	預り金	629,977	
	未払法人税等	1,753,800	
	未払消費税	1,440,100	
流動負債合計・・・③			19,990,786
2	固定負債		
	長期借入金		
	退職給付引当金		
固定負債合計・・・④			
負 債 合 計 ③+④			19,990,786
【B-2】 正 味 財 産 の 部			
	前期繰越正味財産額		2,503,051
	当期正味財産増減額		3,912,343
正 味 財 産 合 計			6,415,394
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】			26,406,180

2年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人 アーツ・イニシアティブ・トウキョウ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準 協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産は除く）建物及び付属設備は定額法、それ以外は定率法

(2) 引当金の計上基準

・貸倒引当金

債権の貸倒損に備えるために、法定繰入率により計上している

(5) 消費税等の会計処理

消費税の会計区分は、税込方法によっている

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	アーティストの東京滞在支援 活動事業	国内アーティストの海外施設 への入所支援事業	現代美術の展覧会 ワークショップの実施事業	現代美術の公開講座の 実施事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 正会員受取会費				40,000	40,000		
2. 賛助会員受取会費	200,000				200,000		
3. 受取寄附金							
4. 受取助成金等				593,301	593,301		
5. 受取補助金	3,189,000				3,189,000		
6. 事業収益	1,414,964	10,842,437	74,934,751	21,899,265	109,091,417		
7. その他収益	247,707	325	2,708,522	1,221,790	4,178,344		
経常収益計	5,051,671	10,842,762	77,643,273	23,754,356	117,292,062	0	0
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	530,449	200,454	10,252,194	4,665,533	15,648,630		
役員報酬			6,986,646	1,895,170	8,881,816		
退職給付費用		30,000	240,000	30,000	300,000		
法定福利費	80,698	21,643	2,546,192	943,881	3,592,414		
福利厚生費	49,681		66,852	46,846	163,379		
人件費計	660,828	252,097	20,091,884	7,581,430	28,586,239	0	0
(2) その他経費							
仕入高			15,531,878		15,531,878		
外注費	2,196,789	5,442,283	21,233,660	7,903,590	36,776,322		
講師・謝礼金	155,918		132,512	565,715	854,145		
印刷製本費		1,800,000	2,829,290	51,410	4,680,700		
製作費			10,190,539		10,190,539		
会議費		3,000	43,623	25,708	72,331		
広告宣伝費				165,090	165,090		
旅費交通費	92,281	48,793	1,901,650	440,562	2,483,286		
接待交通費	16,867	36,189	323,530	68,167	444,753		
イベント費用	2,439		88,032	25,037	115,508		
通信費	28,323	2,139	318,238	262,854	611,554		
消耗品費	10,456	1,464	738,517	354,667	1,105,104		
運搬費	109,365	1,306	972,697	34,674	1,118,042		
水道光熱費	4,780	1,835	125,741	20,144	152,500		
地代家賃	91,080	30,360	2,519,880	394,680	3,036,000		
賃借料	412	337,408	67,850	5,580	411,250		
減価償却費			680,240	144,760	825,000		
保険料			129,232		129,232		
諸会費			3,250	6,875	10,125		
租税公課	21,268	142,789	2,307,316	288,927	2,760,300		
資料費			92,008	33,636	125,644		
支払手数料	10,230	3,850	223,060	114,052	351,192		
支払寄付金				64,593	64,593		
為替差損			102,218		102,218		
雑費	27,720	9,240	766,920	120,120	924,000		
その他経費計	2,767,928	7,860,656	61,321,881	11,090,841	83,041,306	0	0

経常費用計	3,428,756	8,112,753	81,413,765	18,672,271	111,627,545	0	0
当期経常増減額	1,622,915	2,730,009	-3,770,192	5,082,085	5,664,517	0	0

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は6,500,494円ですが、そのうち593,301円は、下記のように使途が特定されています。
したがって使途が制約されていない正味財産は5,907,193円です。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
文化庁		3,189,000	3,189,000		
資生堂		293,301		293,301	
神戸福祉財団		300,000		300,000	
合計		3,782,301	3,189,000	593,301	

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	393,645				393,644	1
無形固定資産						
投資その他の資産						
敷金	460,000					460,000
合計	853,645				393,644	460,001

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書)			
活動計算書計			
(貸借対照表)			
未払金	7,399,909	721,793	
貸借対照表計	7,399,909	721,793	

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
- ・ その他の事業に係る資産の状況

2 年度 財産目録

特定非営利活動法人 アーツ・イニシアティブ・トウキョウ

(単位：円)

科	目	金 額	小 計	合 計
【A】 資 産 の 部				
1	流動資産			
	現金預金		24,710,611	25,946,179
	手元現金	790,011		
	みずほ銀行普通預金	723,473		
	みずほ銀行普通預金	1,402,105		
	みずほ銀行外貨預金	680,063		
	みずほ銀行外貨預金	1,045,736		
	三井住友銀行普通預金	103,162		
	三菱UFJ銀行普通預金	19,966,061		
	仮払金		402,124	
	現代美術の公開講座の実施事業	402,124		
	棚卸資産		833,444	
	販売用物品	833,444		
	流動資産合計・・・①			25,946,179
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			1
	什器備品			
	パソコン	393,645		
	減価償却累計額	393,611		
	(2) 投資その他の資産			460,000
	敷金			
	渋谷区	460,000		
	固定資産合計・・・②			460,001
【A】 資 産 合 計 ①+②				26,406,180
【B-1】 負 債 の 部				
1	流動負債			
	未払金		7,399,909	19,990,786
	(南)フレイム	1,210,000		
	リレーレー	863,500		
	その他 15件	604,193		
	4,722,216			
	前受金		8,767,000	
	三菱商事㈱	4,367,000		
	公益財団法人東京都歴史文化財団	1,100,000		
	日産自動車㈱	1,100,000		
	メルセデス・ベンツ日本㈱	1,100,000		
	ハッカーズ・ファンデーション事務局	1,100,000		
	預り金		629,977	
	源泉徴収税	371,821		
	社会保険料	258,156		
	未払法人税等	1,753,800	1,753,800	
	未払消費税等	1,440,100	1,440,100	
	流動負債合計・・・③			19,990,786
2	固定負債			
	長期借入金			
	固定負債合計・・・④			
【B-1】 負 債 合 計 ③+④				19,990,786
【B-2】 正 味 財 産 合 計 【A】 - 【B-1】				6,415,394

令和2年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）
特定非営利活動法人アーツ・イニシアティヴ・トウキョウ

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ✓以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- ✓各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 <small>どちらかに ○</small>	(フリガナ) 氏名		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	理事	シオミュウコ		令和2年5月1日 ～ 令和3年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		塩見 有子			
2	理事	スミトモフミヒコ		令和2年5月1日 ～ 令和3年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		住友 文彦			
3	理事	キリカワヨウコ		令和2年5月1日 ～ 令和3年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		桐川 洋子 (宮原)			
4	理事	ホリウチナオコ		令和2年5月1日 ～ 令和3年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		堀内 奈穂子			
5	理事	ニシヤマユウコ		令和2年5月1日 ～ 令和3年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		西山 裕子			
6	理事	ナンジョウフミオ		令和2年5月1日 ～ 令和3年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		南條 史生			
7	監事	ナカモリヤスフミ		令和2年5月1日 ～ 令和3年4月30日	年 月 日 ～ 年 月 日
		中森 康文			
8	理事・監事		以上	年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事			年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

特定非営利活動法人アーツ・イニシアティブ・トウキョウ

	氏名	
1	塩見 有子	
2	ロジャー・ クリストファー・ マクドナルド	
3	住友 文彦	
4	宮原（桐川） 洋子	
5	西山 裕子	
6	南條 史生	
7	中森 康文	
8	堀内 奈穂子	
9	金子 修	
10	肥田 暁子	
11		
12		